

両国まちあるき瓦版基

～ぐるり、めぐり、ごくり、きらり、びっくり、やはり、りょうごく～

★両国周辺にあるミュージアムを紹介します！

両国の街には、来春のリニューアルオープンが待たれる江戸東京博物館以外にも、大小さまざまな美術館、博物館、資料館があります。常設展のほか、企画展を開催している施設もありますので、繰り返しお楽しみいただけます。どうぞ、気軽にお立ち寄りください！

(一部施設は、予約が必要です。また、開館日・時間については個別にご確認ください。)

○すみだ北斎美術館

現在の墨田区亀沢付近で生まれ、生涯のほとんどをすみだで過ごしながらか多くの作品を残した、世界的にも評価が高い浮世絵師である葛飾北斎の美術館。(墨田区亀沢2-7-2)

6/24から8/31まで、企画展
“あ！っと北斎一みて、みつめて、
みえてくる浮世絵”を開催

3M

○折箱博物館「木具輪(きぐりん)」

折箱、木箱、竹製品など、日本の伝統的な食品容器を200点あまり展示。(墨田区立川1-3-5)

木具輪
KI-GU-RIN



3M

○名刺と紙製品の博物館-SAKURA TERRACE-

名刺に関するさまざまな知る展示、オリジナルブランド商品の販売など。(墨田区立川3-1-7-3F)

○相撲博物館

錦絵、番付、化粧廻しなど相撲に関する資料を収集。(墨田区横綱1-3-28国技館1F)
8/22まで“大相撲100年史”を開催中



○相撲写真資料館

相撲に関する歴史的な写真の所蔵品から厳選した500枚の中から、場所ごとに約70枚を展示。(墨田区両国3-13-2)



○刀剣博物館

日本刀文化の普及や、その魅力を世界に発信していく拠点となっている博物館。刀剣類、刀装、刀装具、甲冑、金工資料、古伝書等を所蔵。(墨田区横綱1-12-9)

刀剣博物館
The Japanese Sword Museum

7/21まで、企画展“日本刀 美の表現と薩摩金工の精髓”を開催中

○袋物博物館

煙草入れなど袋物のほか、手動ミシンなど約100点を展示。革小物ショップやカフェも併設。(墨田区両国1-1-7 ※一部要予約)

FUKUROMONO MUSEUM



○桐の博物館

伝統桐箆のほか、江戸文化年間製造の箆笥などの希少な桐製品、鉋や鋸などの道具を展示。(墨田区両国4-1-8)



○江戸表具博物館

表具師が使用する道具(鉋、鋸、物差等)や襖・掛軸の制作工程を説明したパネルを展示。(墨田区千歳3-5-11 ※要予約)

○金庫と鍵の博物館

世界に一つしかない“幻の金庫”や保存状態の良い“千両箱”など、貴重な金庫や鍵の数々を展示。(墨田区千歳3-4-1 ※要予約)



○両国花火資料館

江戸時代からの歴史などの紹介、花火玉の原寸大模型、打ち上げ筒などを展示。(墨田区両国2-10-8-1F)



○フットマークギャラリー

水泳帽子、水着、介護用品など、これまで社で製造されてきた製品、その機械・道具などを展示。(墨田区緑2-7-12 ※要予約)

○鍼灸あん摩博物館

日本鍼灸とあん摩の歴史を物語る資料や道具をわかりやすく展示。(墨田区千歳1-8-2 江島杉山神社境内)

○指物博物館

ちゃぶ台・姿見・長火鉢等、指物の歴史・特徴・製作工程等の解説パネル、使用する木材・ホゾ見本、製作道具等を展示。(墨田区立川4-6-5-1F ※要予約)

○NTTドコモ歴史展示スクエア

移動体通信サービスの進化の紹介、日本初の携帯電話などを展示。(墨田区横綱1-9-2 NTTドコモ墨田ビル1階)

☆すみだ3M運動の詳細は、こちら↓



★今が旬、どぜうを食ませう！

隅田川のほとり、両国橋際にある昭和8年（1933年）創業、東京の郷土料理であるどじょう鍋が食べられるお店です。

“どぜう”の暖簾を掲げるお店は、都内で4件しかないと言われています。どじょうは卵を持ち脂がのる夏が旬で、栄養価も高く、2-30年生きるほど生命力が強く体にいいと言われています。丸鍋のほか、骨抜き鍋や柳川鍋も味わうべし。

また、どじょうの他に、うな重、鯉のあらい、冬には、なまぐ鍋やかき鍋も食べられます。もちろん、お酒とともに！ランチにもぜひ！（両国どぜう 桔梗家 墨田区両国1-13-15）



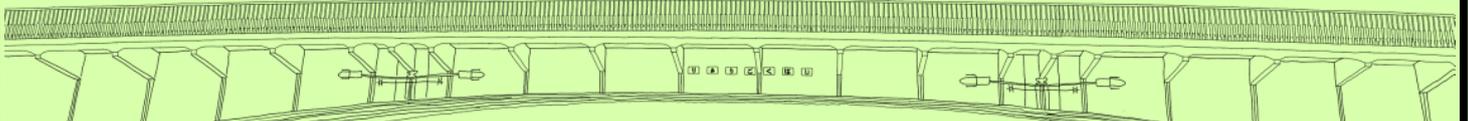
★手土産にも、自宅用にも、食べ歩きにも！



大正10年（1921年）、創業当時の伝統製法にこだわった和菓子店で“両国力士もなか”や“ごっつあんです”などは両国土産の定番商品です。さらに、4コマ漫画“すもうねこ”とコラボした商品は可愛くて食べるのが惜しい…。また、予約をすれば、寒天を砂糖衣で包んだ宝石のごとき“花氷”や、和菓子のなかでも特に製造が難しいといわれる半生菓子も購入できます。そして、場所中のみ限定販売“大入り大福”は売り切れ御免！（半生菓子 両国とし田 墨田区両国4-32-19）



★歴史ある両国橋に光あれ！



隅田川に架かる両国橋は、明暦3年（1657年）の大火をきっかけに、防災上の効用も含んだ御入用橋として万治元年（1658年）に起工し、寛文元年（1661年）に板橋が完成しました。それまで隅田川には、文禄3年（1594年）に架橋された千住大橋しか橋がなく、こちらが“大橋”と呼ばれていましたが、この両国に架けられた方が“大橋”を称することになりました。そして元禄6年（1693年）に、新大橋が架けられた折には、武蔵国と下総国をつなげることに由来して“両国橋”と名付けられました。架橋後は、本所・深川方面の発展に幹線道路として大きく寄与するとともに、火除地としての役割も担いました。現在の橋は、震災を経た昭和7年（1932年）に架け替えられたものです。令和7年（2025年）3月には、ついにライトアップが始まりました。日没15分後から午後11時まで点灯されます。これまでと雰囲気の異なる両国橋を、ぜひご覧ください！



☆紙面で紹介した具体的な場所などについては、お得な特典付“両国にぎわいMAP”を参照してください。印刷したMAPは、両国観光案内所などで配布しています。

☆墨田区観光協会では、両国をはじめとする“本物が生きる街すみだ”について、地元ガイドによる“まち歩きガイドツアー”を実施しています。



☆江戸東京博物館は、リニューアル工事中も、館外展示やバーチャル・ミュージアム、その他催しなどを実施しています。

エドハク
リニューアルオープンまで、
あと、9か月 くらい

■両国まちあるき 互版_其の式 (Vol. 2_2025. 6)

☆その他の両国まちあるき情報やバックナンバーなどは、こちらに掲載しています↓

■発行・問合せ：墨田区産業観光部観光課

KANKOU@city.sumida.lg.jp / 03-5608-6500

■協力：墨田区観光協会/両国協力会

